

# 島歩き 奥尻島 フットパス

整備を進めていました「奥尻島フットパス」が、7月20日にデビューしました。

「フットパス」とは、イギリスで発祥した「遊歩道」という意味で、人々が自由に農村や市街地などのコースを歩き、景観を楽しみ、その「地域を知る」、「地域と地域がつながる」といった意味もあります。

## 島を歩こう

広報おくしり6月号の中でも一部紹介していましたが、「奥尻島フットパス」は、奥尻島の資源の掘り起こしを進め、魅力ある資源をどのように見せるかなどを、実際に現地を歩き、島内に3コースを設定しました。

今回は、「テスト版」としてコース地図を作成し、観光案内所や各宿泊施設に配布しました。

なお、詳しいことについては、産業建設課商工観光係（電話2局2351番）までお問い合わせください。

## A 空港・大寺屋敷コース

【6 km / 10,260歩 / 3時間】

奥尻空港の周囲をぐるりと1周するルート。

旧滑走路の歩行、海岸線の絶景、牛の放牧、田んぼ・畑・牧草地、数々の遺跡群、歴史物語などがバランスよく配られています。

時間帯によって、変化する海の色も見どころです。

### ※コース注意

●日陰が無く直射日光にさらされます。  
●熱中症・日焼けなどの対策を怠らないようにしましょう。

●コースの途中に補給箇所がありませんのでご注意ください。

●脱水症状やハンガーノック（空腹による虚脱状態）を避けるために、十分な水分と少々の補給食を持参しましょう。

●虫除け対策が必要です。





## B 青苗岬めぐりコース

【3.5km／5,800歩／2時間】

1993（平成5）年7月の震災で大きな被害を受けた青苗岬をめぐります。いそ舟が並ぶ海岸とイカ釣り漁船が停泊する漁港、朝陽も夕陽も楽しめる南端の岬が見どころです。

津波館に立ち寄れば、震災当時と復興後の新旧市街地を見比べることができます。



### ※コース注意

- 日陰が無く、直射日光にさらされます。  
熱中症・日焼けなどの対策を怠らないようにしましょう。
- 海岸・漁港の周辺には、漁具（網・縄・針など）が置かれていますので、十分に注意してください。

## C 奥尻の森と街コース

【5km／8,000歩／2時間30分】

- 島の玄関口であるフェリーターミナルを出発し、海岸線にせまる深い森を抜けて、島の中心市街地を歩くルート。  
シンボリックな奇岩「鍋釣岩」を間近に見ることが出来ます。  
また、樹齢200年を越える巨木との出会いもあります。
- ※コース注意  
●幅の狭い車道を歩くルートがありますので、通行には十分注意して下さい。  
●複数人で歩く場合は、横に並ばず、1列で歩行して下さい。
- 「調理師の森」の果樹園に、攻撃的な「アリ」が巣を作っていますので、不用意に足を踏み入れないようにしましょう。
- 狭く急で路肩の弱いルートがありますので、急がずゆっくり歩きましょう。  
雨天時の通行は推奨できません。
- 十分な虫除け対策が必要です。

### 島歩きのマナーとコツ

- ①ゴミは持ち帰る。
- ②家畜・農作物・農漁具に手を触れない。
- ③草花を採取しない。
- ④野生動物にエサを与えない。
- ⑤島人に天候を確認する。
- ⑥服装・持ち物・注意点も島人に相談する。



### 「島時間」で歩いてみませんか？

町民皆さんも「奥尻島フットパス」を是非体験してください。地図は、奥尻島観光案内所（フェリーターミナル）または、ホームページからダウンロードできます。皆さんの様々な意見を取り入れて、コースの充実を目指していきます。ご意見やご感想は産業建設課商工観光係（電話2-2351）または、HP（<http://www.okushiri-foot.jp>）までお寄せください。

